



日本共産党市会議員

館田るみ子活動だより

第60号

二〇一五年十月
日本共産党東青地区委員会
青森市中央三丁目二一―十五
TEL 七七七―七二四一
市役所内 TEL 七二二―八九〇四

国保税の減免要件を緩和し、他都市のように、 公私の扶助と同程度の生活困窮者を救うべき

館田るみ子市議は、九月七日に一般質問をおこない、十一日に決算特別委員会、十四日に予算特別委員会で質問に立ち、北海道新幹線、災害対策、肺がん検診、国保税の低所得者減免、道路行政等について質問しました。

館田市議は、60代の女性から自宅と市役所に3通のハガキが届いたことを紹介しました。「助けてほしいのです。通院費をやりくりしてきたが、もう貯金も底をつき、少ない年金では、病院に行くことができません」というハガキを読み上げて「国民年金のみの収入で暮らしている高齢者の中には、国保税を払えば、生活を維持できなくなったり、病院にかかれなくなったり悲鳴をあげている人もいます。国保税の減免要件のなかに、公私の扶助を受けていないが、同程度の生活困窮状態に

自席から再質問する館田市議



あるものを加えるべきと思うかどうか」と質問しました。赤垣敏子健康福祉部長は、いつものように「所得が一定の金額以下、下の世帯を生活困窮状態とみなして減免の適用をおこなうことは制度の趣旨にそぐわない」と冷たい答弁でした。鹿内市長に「助けて下さい」と悲鳴を上げている市民をほおっておくのか」と答弁を求めると「見過ごすとか、放置する気はない。このままでもいいとは思っていない」と答弁がありました。

税金は、低所得者の場合は非課税となりますが、国保税は、無収入の世帯にも課税されます。ですから、多くの自治体では、所得の減少や、公私の扶助、災害だけでなく、恒常的な低所得にも減免をしています。公私の扶助とは、地方税法で「貧困に因り生活のために公私の扶助を受けるもの」とされ、就学援助や児童扶養手当などを受けていると減免の対象になります。

海岸地域に 海拔表示板と 防災無線の設置を

館田市議は、災害時に市民生活を守る機能を備え、職員が機動力を発揮できる庁舎、訪れた市民、高齢者、障がい者を含めた誰もが使いやすい、市民に親しまれる庁舎になるよう求めて質問しました。

館田市議は、災害時に市民生活を守る機能を備え、職員が機動力を発揮できる庁舎、訪れた市民、高齢者、障がい者を含めた誰もが使いやすい、市民に親しまれる庁舎になるよう求めて質問しました。



私も戦争反対
寂聴

今年も「かかしロード280号」に参加しました。
(館田るみ子&仲間たち)

「防災行政無線の必要性を認識している。津波到達時間が短い海岸地域から重点的に整備していく」と答弁がありました。

海拔表示板は 要望に応じて 増やすよう求める

海抜表示板について、鳴口総務部長は「避難対象の地域内にある交通機関や公共施設等に19カ所、津波避難ビルに指定した8カ所に海抜表示板を設置している。小学校などの老朽化した避難所標識板は貼り替え、改修などの時に表示していくことにしている」と答弁がありました。館田市議は「表示板が少なすぎる。海岸地域の町会等からの要望に応じて増やすよう」求めました。

北海道新幹線 沿線住民の生活環境守れ!

開業を来年3月に控えた北海道新幹線の「障害防止対策等説明会」の席上で、鉄道運輸機構は「県や市に連絡してあるが出席していない」羽白池上地域の街灯は高架橋工事に伴って撤去したものの「撤去は市がおこなったから、設置は市が行うべきもの」と主張しました。

館田市議の質問で、市が「開催通知を受けていない」こと、「街灯は機構が東北電力に依頼して撤去し、市には報告もしていなかった」ことが明らかになりました。館田市議は「市が同席していないことをいいことに、

鉄道運輸機構がいわば虚偽の説明をしたことは許されない。予想される騒音、振動、日影の問題で機構が誠実に対応するか心配になる。今後の説明会には、かならず連絡をもらい、出席するよう」求めました。